



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <http://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 彰之介

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 作田 一郎 TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	21,843	13.7	10,033	15.7	10,023	15.0	7,024	19.7
28年3月期第2四半期	19,208	16.3	8,671	20.0	8,714	20.3	5,867	28.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 6,987百万円 (19.1%) 28年3月期第2四半期 5,867百万円 (28.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	32.25	32.22
28年3月期第2四半期	26.63	26.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	37,804	31,560	82.4
28年3月期	38,903	32,111	81.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 31,166百万円 28年3月期 31,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	16.3	23,000	17.7	23,000	17.5	15,900	21.4	73.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	218,160,100株	28年3月期	219,560,100株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,069,725株	28年3月期	1,019,125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	217,800,665株	28年3月期2Q	220,335,761株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記数値とは異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「ユーザー本位の価値あるサービスを創出しつづける」をミッションとして事業展開をしており、幅広いジャンルで事業展開を行っております。創業当時よりサービスを提供している購買支援サイト『価格.com』をはじめ、ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』など、現在提供しているサービスは15以上あり、各事業それぞれがグループ全体の業績を牽引することで、継続的な成長の実現に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府による景気対策を背景に緩やかな回復基調が続くなか、世界経済は、11月に米国大統領選挙を控えていることや、FRBの利上げの可能性も含めて、依然として先行きは不透明な状況となりました。一方で、当社の事業に関連する消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場規模は平成27年度に13.8兆円と、前年比7.6%増と堅調に増加しており、さらに、小売市場全体に占めるEC化率は4.8%と世界水準から見てもまだ低いため、今後も中期的な成長が期待されます。（※1）

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における施策として、『価格.com』では価値向上に向けた取り組みとして、ユーザビリティの改善及びコンテンツの拡充を図りました。『食べログ』では、オンライン予約事業を中心とするユーザーインターフェースの改善と飲食店向け集客サービスのリニューアルをし、有料プランの販売を強化してまいりました。また、新興メディアでは『タイムデザイン』におけるダイナミックパッケージ予約システムの強化を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は21,843百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は10,033百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益は10,023百万円（前年同期比15.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,024百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

当社主要サイト利用状況

サイト名		平成27年9月度	平成28年9月度
購買支援サイト 『価格.com』	利用者数	4,729万人	4,502万人
	PC	2,468万人	2,100万人
	スマートフォン	2,229万人	2,384万人
ランキングとクチコミの グルメサイト 『食べログ』	利用者数	6,830万人	7,559万人
	PC	2,287万人	2,239万人
	スマートフォン	4,475万人	5,280万人
旅行のクチコミと比較サイト 『フォートラベル』	利用者数	930万人	870万人
	PC	388万人	332万人
	スマートフォン	542万人	538万人
総合映画情報サイト 『映画.com』	利用者数	918万人	1,478万人
	PC	215万人	370万人
	スマートフォン	689万人	1,096万人
アジア向け購買支援サイト 『Priceprice.com』 (※2)	利用者数	594万人	987万人
	PC	259万人	280万人
	スマートフォン	334万人	707万人
暮らしに特化した キュレーションサイト 『キナリノ』	利用者数	476万人	667万人
	PC	111万人	158万人
	スマートフォン	365万人	509万人

※1 出所：経済産業省「平成27年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」（平成28年6月14日発表）

※2 『Priceprice.com』はフィリピン・タイ・インドネシア・インドに展開しており、利用状況は4カ国合算の数値となります。

セグメントの業績(内部取引消去前)は、次のとおりであります。

① インターネット・メディア事業

当第2四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上高は、21,371百万円(前年同期比14.7%増)営業利益は9,942百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

[ショッピング業務]

『価格.com』におけるショッピング業務におきましては、ユーザビリティの改善及びコンテンツ強化を図ったこと等により、参加事業者からの手数料収入は前年同期比で増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,502百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

[サービス業務]

『価格.com』におけるサービス業務におきましては、マネー関連事業におけるクレジットカード比較やローン比較の取次ぎが好調に推移したことに加え、通信事業における海外wi-fiやSIM比較による取次ぎ件数が好調に推移したことから、手数料収入が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,741百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

[広告業務]

『価格.com』における広告業務におきましては、第2四半期連結会計期間の売上高は前年同期を上回るも、第1四半期連結会計期間は震災の影響等により広告受注が減少し、前年同期比で広告収入が減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,875百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

[食ベログ業務]

食ベログ業務におきましては、『食ベログ』の有料サービスを利用するレストラン及び個人会員の獲得が進み、課金収入が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,996百万円(前年同期比21.4%増)となりました。

[新興メディア業務]

新興メディア業務におきましては、連結子会社㈱タイムデザインにおける宿泊施設の予約件数が増加したこと及び不動産住宅情報サイト『スマイティ』においてコンテンツの強化を図ったことにより、手数料収入が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,255百万円(前年同期比32.8%増)となりました。

② ファイナンス事業

当第2四半期連結累計期間のファイナンス事業は、連結子会社㈱カクコム・インシュアランスによる保険代理店業務において、2015年10月に火災保険の改定による契約期間の短縮が影響し、昨年の売上が大幅に増加したことから、前年同期比で保険代理店手数料収入が減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は473百万円(前年同期比17.0%減)、営業利益は87百万円(前年同期比55.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は37,804百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,099百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が972百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は6,244百万円となり、前連結会計年度末と比較し548百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が498百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は31,560百万円となり、前連結会計年度末と比較し550百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益7,024百万円を計上した一方、剰余金の配当4,589百万円を計上し、自己株式2,999百万円を取得したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ972百万円減少し、27,346百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7,370百万円(前年同期は5,804百万円の収入)となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益を10,057百万円、売上債権の減少額を539百万円計上した一方で、法人税等の支払が3,510百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は759百万円(前年同期は2,030百万円の収入)となりました。

これは、事業拡大に伴うサーバー等の有形固定資産の取得による支出が237百万円、サーバーで使用するソフトウェアの購入等の無形固定資産の取得による支出が551百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は7,561百万円(前年同期は3,013百万円の支出)となりました。

これは、主として配当金の支払が4,586百万円、自己株式の取得による支出が3,012百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、㈱カクコム・フィナンシャルは重要性が乏しくなったため、第1四半期会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,319,130	27,346,589
受取手形及び売掛金	5,764,560	5,225,039
繰延税金資産	367,144	310,215
その他	226,052	500,458
貸倒引当金	△3,202	△1,575
流動資産合計	34,673,685	33,380,727
固定資産		
有形固定資産	855,950	927,004
無形固定資産		
のれん	215,267	202,959
ソフトウェア	1,651,728	1,706,079
その他	111,706	181,281
無形固定資産合計	1,978,702	2,090,320
投資その他の資産		
繰延税金資産	50,458	128,244
その他	1,349,701	1,280,831
貸倒引当金	△4,505	△2,227
投資その他の資産合計	1,395,654	1,406,848
固定資産合計	4,230,306	4,424,173
資産合計	38,903,992	37,804,900
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	3,780,017	3,281,612
賞与引当金	384,694	408,681
役員賞与引当金	—	17,250
その他	2,458,464	2,341,861
流動負債合計	6,623,176	6,049,404
固定負債		
資産除去債務	119,739	139,975
その他	50,060	55,010
固定負債合計	169,799	194,985
負債合計	6,792,975	6,244,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	915,984	915,984
資本剰余金	819,037	819,037
利益剰余金	31,894,297	31,518,020
自己株式	△1,984,111	△2,119,214
株主資本合計	31,645,208	31,133,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,810	18,267
為替換算調整勘定	15,127	14,831
その他の包括利益累計額合計	93,938	33,099
新株予約権	188,426	186,295
非支配株主持分	183,442	207,287
純資産合計	32,111,016	31,560,509
負債純資産合計	38,903,992	37,804,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,208,997	21,843,791
売上原価	1,948,985	2,470,883
売上総利益	17,260,011	19,372,908
販売費及び一般管理費	8,588,108	9,339,652
営業利益	8,671,902	10,033,255
営業外収益		
受取利息	9,364	1,156
受取配当金	2,841	3,391
受取分配金	26,827	—
その他	4,361	1,786
営業外収益合計	43,394	6,334
営業外費用		
支払利息	8	—
株式交付費	298	207
自己株式取得費用	—	12,651
為替差損	394	3,531
その他	116	25
営業外費用合計	817	16,415
経常利益	8,714,479	10,023,174
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,000
特別利益合計	—	34,000
特別損失		
事業譲渡損	12,340	—
特別損失合計	12,340	—
税金等調整前四半期純利益	8,702,139	10,057,174
法人税、住民税及び事業税	2,814,951	2,988,955
法人税等調整額	16,141	19,708
法人税等合計	2,831,092	3,008,663
四半期純利益	5,871,047	7,048,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,998	23,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,867,049	7,024,666

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	5,871,047	7,048,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,951	△60,542
為替換算調整勘定	410	△296
その他の包括利益合計	△3,540	△60,839
四半期包括利益	5,867,507	6,987,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,863,492	6,963,827
非支配株主に係る四半期包括利益	4,014	23,844

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,881,900	11,379,534
売上原価	1,114,245	1,466,106
売上総利益	8,767,654	9,913,428
販売費及び一般管理費	4,372,227	4,734,463
営業利益	4,395,426	5,178,964
営業外収益		
受取利息	4,402	369
受取配当金	2,841	3,116
受取分配金	13,956	—
その他	1,912	541
営業外収益合計	23,113	4,026
営業外費用		
自己株式取得費用	—	12,651
為替差損	1,065	1,123
その他	31	13
営業外費用合計	1,097	13,788
経常利益	4,417,442	5,169,202
特別損失		
事業譲渡損	12,340	—
特別損失合計	12,340	—
税金等調整前四半期純利益	4,405,102	5,169,202
法人税、住民税及び事業税	1,662,853	1,784,318
法人税等調整額	△195,398	△177,084
法人税等合計	1,467,454	1,607,234
四半期純利益	2,937,647	3,561,967
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,770	16,481
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,927,876	3,545,485

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	2,937,647	3,561,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,103	△26,326
為替換算調整勘定	△2,209	313
その他の包括利益合計	△1,106	△26,012
四半期包括利益	2,936,541	3,535,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,926,754	3,519,472
非支配株主に係る四半期包括利益	9,786	16,481

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,702,139	10,057,174
減価償却費	470,409	590,273
事業譲渡損益(△は益)	12,340	—
のれん償却額	12,308	12,308
株式報酬費用	28,858	6,563
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,439	23,986
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	17,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△240	△3,904
受取利息	△9,364	△1,156
支払利息	8	—
受取分配金	△26,827	—
株式交付費	298	207
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△34,000
売上債権の増減額(△は増加)	503,802	539,521
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,062	△36
仕入債務の増減額(△は減少)	76,198	33,502
未払消費税等の増減額(△は減少)	△597,513	△150,890
未払金の増減額(△は減少)	△74,619	△48,854
前受金の増減額(△は減少)	89,856	45,944
その他	63,863	△211,566
小計	9,294,894	10,876,320
利息及び配当金の受取額	7,668	4,398
利息の支払額	△8	—
法人税等の支払額	△3,498,531	△3,510,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,804,023	7,370,692
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106,019	△237,069
無形固定資産の取得による支出	△533,145	△551,950
投資有価証券の取得による支出	△301,066	—
投資有価証券の売却による収入	—	35,000
定期預金の払戻による収入	3,000,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△70,953	△5,336
敷金及び保証金の回収による収入	1,401	35
受取分配金による収入	27,513	—
事業譲渡による収入	12,960	—
その他	△167	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,030,522	△759,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△19,000	—
短期借入れによる収入	19,000	—
自己株式の処分による収入	299,919	—
自己株式の取得による支出	△29	△3,012,555
配当金の支払額	△3,518,319	△4,586,668
ストックオプションの行使による収入	204,756	37,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,013,674	△7,561,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	423	△225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,821,295	△950,416
現金及び現金同等物の期首残高	21,772,815	28,319,130
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△22,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,594,110	27,346,589

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得及び自己株式の消却）

当社は平成28年6月15日開催の取締役会に基づき、自己株式1,495,800株の取得を行い、自己株式が2,999,904千円増加しました。また、平成28年8月4日開催の取締役会に基づき、自己株式1,400,000株の消却を行い、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2,776,200千円減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が31,518,020千円、自己株式が2,119,214千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	18,638,236	570,761	19,208,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	750	5	755
計	18,638,986	570,766	19,209,752
セグメント利益	8,471,220	198,241	8,669,462

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	8,669,462
セグメント間取引消去	2,440
四半期連結損益計算書の営業利益	8,671,902

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	21,369,791	473,999	21,843,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,866	—	1,866
計	21,371,657	473,999	21,845,657
セグメント利益	9,942,894	87,960	10,030,855

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	10,030,855
セグメント間取引消去	2,400
四半期連結損益計算書の営業利益	10,033,255

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。